



温泉の愉しみ

大雪山国立公園の山麓には、各所に豊富な温泉がある。北海道を代表するような温泉地から、秘湯、といってよいひなびたところまで、それぞれに特色のある温泉である。



主な温泉と見どころ案内



旭岳温泉



糠平温泉街

表大雪エリア

層雲峠温泉

道央で最大の温泉地であり、温泉街を形成している。泉質は硫酸塩泉である。旭川から網走・十勝方面を結ぶ国道沿線にあり、北海道周遊観光の主要な経過地として、また、層雲峠の探勝や大雪山登山の基地としてにぎわいを見せる。付近には、流星・銀河の滝や大函などがあり、渓谷美を堪能できる。



層雲峠温泉街

天人峡温泉

明治 33（1900）年開湯の、道内では古い温泉である。硫酸塩泉。天人峡探勝の基地となっている。車道終点から川沿いに歩道があり、羽衣の滝を訪れることができる。

旭岳温泉

旭岳の麓、標高約 1,050m にある。大正 3（1914）年に発見された塩化物泉。層雲峠温泉とともに、大雪山登山の基地となっている。旧名の勇駒別はアイヌ語で「湯に向かってゆく川」の意で、勇駒別川付近には今も温泉の湧出が見られる。

十勝連峰エリア

白金温泉

昭和 25（1950）年に掘削した硫酸塩泉。十勝岳に一番近い。温泉入り口に、延長 3km の白樺遊歩道がある。



層雲峠温泉街

東大雪エリア

糠平温泉

東大雪エリア最大の利用拠点で旅館などの施設が多い。単純温泉。地区内にひがし大雪博物館、スキー場、小鳥の村散歩道などがある。

十勝岳温泉・吹上温泉

国民保養温泉地に指定されている温泉である。十勝岳山麓の標高約 1,200m、ハイマツ帯に近い高所にあり、泉質は酸性泉である。吹上温泉は十勝岳温泉のやや下方、望岳台との中間地点にある。



吹上温泉

大自然に包まれた温泉

この公園には、ほかにも表大雪エリアに愛山渓温泉、高原温泉、東大雪エリアには然別湖温泉、然別峠温泉（国民保養温泉地指定）、トムラウシ温泉、幌加温泉、山田温泉などがある。いずれも森林に囲まれた静かな温泉で、多くが素朴な山の湯の雰囲気を保っている。



ヌプントムラウシ温泉

氷祭り・イベント

層雲峠氷瀑まつり

1月中旬から3月中旬、そぞり立つ氷の造形がライトアップされ、幻想的な世界が広がる。

